



# 検査

## X線

- 体内の臓器や組織の画像を撮影するために少量の放射線を使用する
- 腫瘍では放射線吸収率が変化する
- がんの存在、増殖、治療に対する反応を見ることができる

## コンピュータ断層撮影 (Computed Tomography, CT)

- トンネル状の大型機械で体の内部を撮影する
- がんの存在、増殖、治療に対する反応を見ることができる
- 速くて痛みがなく、コントラストを上げるために、医師は造影剤を指示することがあり、手または腕に小さな針を刺して投与する

## 磁気共鳴画像法 (Magnetic Resonance Imaging, MRI)

- 電波と磁石により、体の内部を撮影する
- 狭いトンネルを備えた大型機械で、騒音があり、患者をスクリーニングする
- がんの存在、増殖、治療に対する反応を見ることができる
- 造影剤を投与する可能性がある
- 検査は30～60分以上かかる

## 陽電子放出断層撮影法 (Positron Emission Tomography, PET)

- 電波と磁石により、体の内部を撮影する
- 狭いトンネルを備えた大型機械で、騒音があり、患者をスクリーニングする
- がんの存在、増殖、治療に対する反応を見ることができる
- 造影剤を投与する可能性がある
- 検査は30～60分以上かかる

## 超音波 (Ultrasound, US)

- 音波を利用して体内の画像を生成する
- 身体一部分とその近くの組織のサイズ、形状、位置を表示する
- 腫瘍と、腫瘍が固体であるか流体で満たされているかを表示できる
- 医師は卵巣がんの診断で経膈 US を指示する場合がある

## 胃腸 (Gastric Intestinal, GI) の評価

- 直腸、大腸、小腸、胃のがんを調べる検査
- 最も確定的な検査は結腸鏡検査や内視鏡検査であり、スコープを使用して消化管の内部を観察および生検する
- その他の一般的なだが侵襲性の低い検査には、X線、CT、PET スキャンがある

## 血液検査

- 遺伝子検査- 家族歴を確認する
- CA-125 – 卵巣がんの腫瘍マーカー検査
- CBC – 全血球計算 (Complete Blood Count) (ヘモグロビン、血小板など)
- 生化学検査 – 電解質 (ナトリウム、カリウムなど)
- 肝機能 (酵素など)

## 生検組織診断

- 手術中に身体から採取する組織サンプル
- 非常に細い針で組織を採取し、手術前に行うことも可能
- 病理研究室に送って検査する